



## 発達障害に関する周知・啓発活動の報告について (令和2年度実績)

- ① かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
- ② 発達障害に関する講演会



令和3年度第1回さいたま市発達障害者支援地域協議会

### 令和2年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

#### 1. 概要

研修については、国の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業実施要綱（令和2年3月24日付け障発0324第8号）」により定められています。

##### (1) 目的

発達障害の早期発見・早期支援の重要性に鑑み、発達障害者等が日頃より受診する診療所の主治医等の医療従事者等に対して、発達障害に関する国の研修の内容を踏まえた研修を実施し、どの地域においても一定水準の発達障害への対応を可能とすることを目的とする。

##### (2) 内容

国の研修な要に基づき、発達障害支援に携わるものとして必要で適切な発達障害に関する診療の知識・技術などの修得に資する内容とする。また、研修内容については、国の研修で使用されているテキストの内容に基づいたものとする。

その際、国の研修を踏まえた、研修を異なる圏域で実施するなど工夫するものとする。なお、地域の実情に応じて複数の研修内容を合わせて実施することや単独の研修内容のみで実施することもできるものとする。

##### (3) 修了証書の交付等

研修修了者には修了証書を交付する（さいたま市内の医療機関についてはさいたま市から、市外の医療機関については埼玉県から交付する）。

また、研修修了者の同意を得て、研修修了者の名簿を作成し、その情報を市町村や発達障害者支援センターなどの関係機関に配布することで、地域の発達障害医療体制の推進並びに管内の発達障害者及びその家族等の受診の利便性に資するものとする。

##### (4) 研修メニュー

- ・発達障害者支援研修：指導者養成研修パートⅠ～Ⅲ（R2～）

※～R1：発達障害地域包括支援研修：早期支援、精神保健・精神医療並びに発達障害支援医学研修

## 令和2年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

### 2. さいたま市での実施状況

埼玉県と共催で平成28年度から実施しており、例年1～2コースを実施。平成30年度から本市においても予算化し、埼玉県とさいたま市で1回ずつ実施している。

※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、1回のみで開催となり、さいたま市が実施。

#### 【令和2年度 開催実績】

	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
主 催	埼玉県・さいたま市
後 援	一般社団法人埼玉県医師会
日 時	令和3年2月8日（月）9時～令和3年2月22日（月）13時まで
会 場	動画配信によるオンライン形式
対 象	埼玉県内の医療機関の医師
参加者	162名（埼玉県：116名/さいたま市：46名）
講 師	さいたま市総合療育センターひまわり学園 参事 後藤 晴美 先生
内 容	・地域における発達障害児・者支援の現状と展望について ・発達障害児に対する支援の考え方について 等
国研修メニュー	発達障害者支援研修 指導者養成研修パートⅢ

## 令和2年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

### 3. 令和2年度アンケート結果

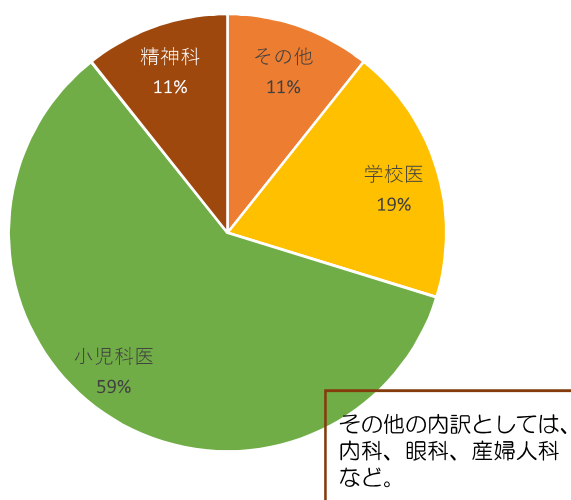
#### 【かかりつけ医等発達障害対応力向上研修】

実施日：令和3年2月8日（月）9時～令和3年2月22日（月）13時実施

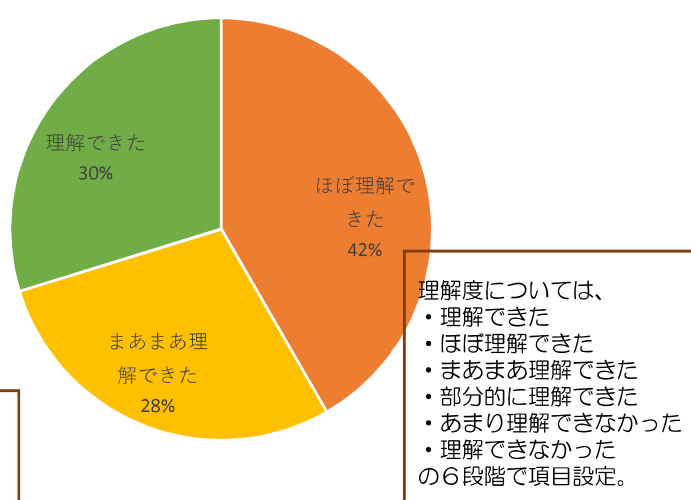
アンケート回収数：84（回収率51.9%）（埼玉県：66名/さいたま市：18名）

アンケート回答期間：令和3年2月8日（月）～令和3年2月26日（金）

#### 1. 受講者の診療科



#### 2. 理解度



### 3. 令和2年度アンケート結果

#### 感想など

- ・臨床を長くされている先生の率直な意見が時々織り込まれていたのが良かったです。
- ・年齢や生活環境によってそれぞれ困っていることを把握して対応することが大切だと思いました。
- ・発達障害のあるお子さんの特性や困り感について、なんとなく理解していたようなことを今回の講習で項目ごとに言語化していただいたので、理解がしやすかったです。特に保護者の方も特性をお持ちの方も多く、今後親御さんに説明するときにも話がしやすくなると思いました。
- ・いつか良くなるから大丈夫など、責任のとれない軽い言動をするべきではない、治らないものは治らない、また楽に生活できることが目標であること、肝に銘じて接したいと思います。
- ・発達障害児の支援はその時その時の症状や訴えに目が向きがちでしたが、より長期的な目線で関わっていかなければならないなど改めて実感いたしました。
- ・一般小児医の役割、特に専門医に送るまでの間に行うことがよく分かりました。
- ・オンラインでの受講であれば、仕事の合間に視聴したり、繰り返し拝聴できることはとても良い試みだと思います。
- ・まだまだ発達障害児の対応には慣れていないため、もっとこういった受講の機会があるといいなと思いました。
- ・早産児や周産期異常のある児を診る機会が多いため、今後そのような方々に関する情報もあるといいなと思いました。

## 令和2年度 発達障害に関する講演会について

### 1. 開催概要

テーマ：「乳幼児発達と保育の支援～発達障害のある子どもの就学支援に焦点をあてて～」

講師：近畿大学九州短期大学 通信教育部 兼任講師 白石 京子 氏

実施：動画配信によるオンライン形式

（さいたま市公式YouTubeチャンネルにおける申込者限定配信）

日程：令和3年3月15日（月）～令和3年3月21日（日）

※新型コロナウイルスの影響により、例年の会場開催ではなく、動画配信形式で実施した。

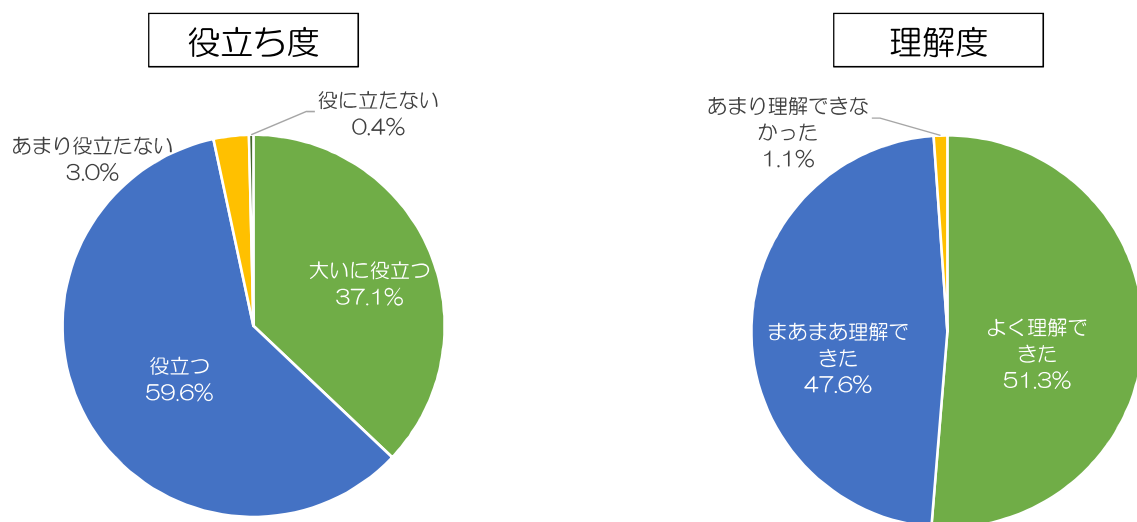
### 2. 開催結果

- |         |      |         |       |
|---------|------|---------|-------|
| ・事前申込者  | 622名 | ・動画再生回数 | 739回  |
| ・アンケート数 | 267人 | ・回収率    | 42.9% |



## 令和２年度 発達障害に関する講演会について

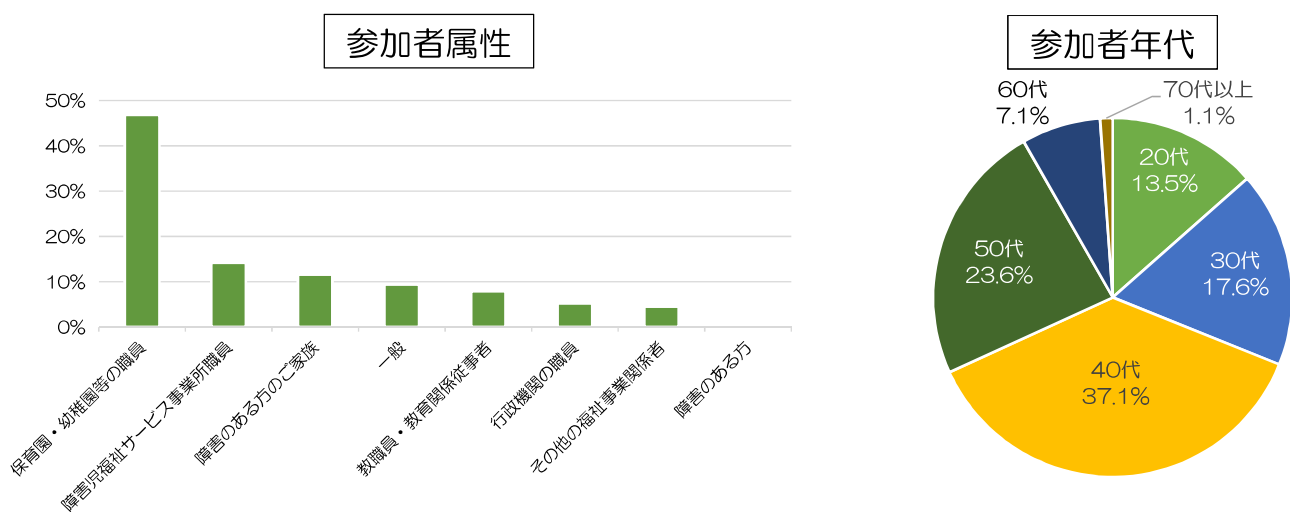
### ３．アンケート結果



- ・「大いに役立った」、「役立つ」を合わせた割合 ⇒ 96.7%
- ・「よく理解できた」、「まあまあ理解できた」を合わせた割合 ⇒ 98.9%

## 令和２年度 発達障害に関する講演会について

### ３．アンケート結果



保育園・幼稚園等の職員が半数弱を占めている。就学支援に焦点を当てるという題材が、未就学児の支援を担う職員の関心を高めた様子。

40～50代の受講者が6割に上り、受講者所属の割合と合わせて分析すると、保育園・幼稚園などでベテラン的職員として勤務する方の受講が多かったと考えられる。

## 令和2年度 発達障害に関する講演会について

### 3. アンケート結果

#### 感想 など

・オンライン講座は、再確認したいところや理解しづらかったところなどを何度も繰り返し見直すことができ、また自分の都合の良い時間にゆっくりと視聴することができるので、大変良かったと思います。

・コロナ禍で研修会や講演会が少なくなる中、このような動画視聴で学ぶ機会を与えられありがとうございます。対人援助職の笑顔の偉大さという言葉のとおり、ストレスコーピングをして自分自身をいたわりながら、保育や保護者支援をしていきたいと思います。

・保育園でも、皆と同じ行動ができないなど、気になる子がいます。話を聞いて、子ども1人ひとりに合った関わり方が必要だと感じました。他の子どもと違う事をしていたら、とにかく叱る人が多く、その子によっては誉める事も大切だと思うのですが、なかなか理解してもらえないところがあると思います。子ども1人ひとりが成長できるよう、この講習の内容を他の人にも知ってほしいと思いました。

・改めて発達障害について学ぶことができて良かった。学生時代に学ぶことも大切だが、保育現場に出ている今だからこそ知りたいことが多く役に立った。現場で活かそうなことが多々あったので、構造化やSSTなど、できることから意識して積極的に取り組んでいきたい。